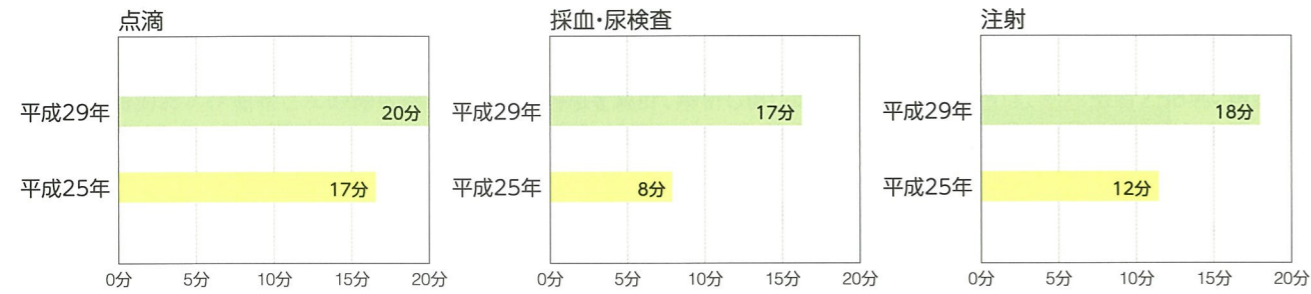


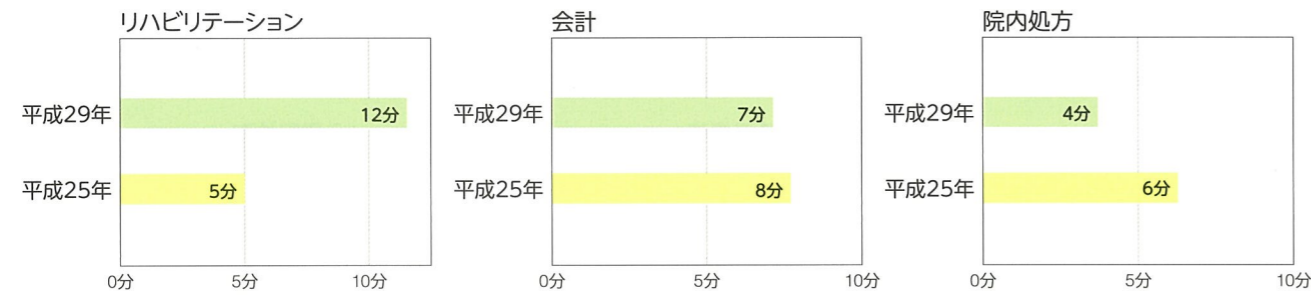
## 6.中央処置室の待ち時間

中央処置室での待ち時間は、平成25年には、注射、採血・尿検査、点滴ともに短縮していましたが、今回は3分から8分程度延長していました。採血・尿検査は年々件数が増加しており、現場の実情を調査し、採血担当者の増員や、待ち時間をお知らせする等の工夫を検討します。



## 7.リハビリテーション、会計、薬剤科の待ち時間

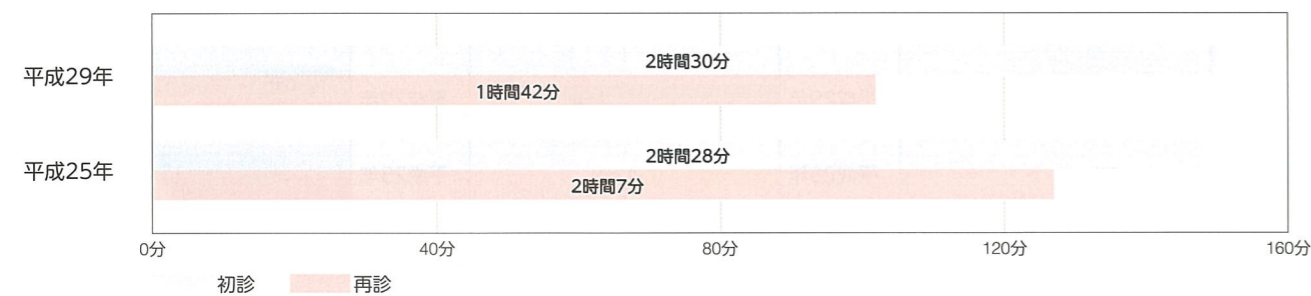
リハビリテーションは、前回と比較し、件数が大幅に増加しており、これに伴った待ち時間の延長が認められました。会計の待ち時間は、前回まで延長傾向がありましたが、今回は短縮しています。薬剤科については、今年度より院外処方箋が診療科窓口で渡されるため、院内処方のお渡し分についてデータをまとめました。件数は少ないですが、年々短縮し、待ち時間4分弱でした。



## 9.病院滞在時間

これまでの結果では、診療科の待ち時間は全体的には大きな変化はありませんでしたが、一部の診療科では延長していました。曜日による偏りが見られ、予約の偏り解消などの対策が必要と思われます。

1診療科を受診した患者さんの病院滞在時間は、初診患者が2時間30分6秒、再診患者が1時間42分43秒でした。初診患者については、平成24年調査から2回連続増加していました。一方、再診患者さんの滞在時間はこれまでで最短でした。



## 9.待ち時間に対する印象

待ち時間に対する印象を5段階で評価いただいたところ、「短く感じた」と「やや短く感じた」と答えた患者さんは、全体で39.7%でした。

逆に「やや長く感じた」「長く感じた」と答えた患者さんは、全体で31.2%と以前の調査より増加傾向で、患者さんの待ち時間に対する満足度が低下していることが浮き彫りになりました。実際の病院滞在時間は、さほどの延長なく、再診患者さんについては短縮していることから、単なる時間の短縮のみでなく、患者さんの心理を考慮した対策が必要と思われます。

当院では、この結果を踏まえて、部署横断的な改善活動を継続していきます。調査にご協力いただきました患者さん、ご家族の皆様に深く感謝申し上げます。

